

## 5 止水栓の取付け

止水栓の設置位置等は、「第Ⅱ章 8 止水栓設置の取扱い」による。

止水栓は、接続する管の種類、設置位置等によって取付け方法が異なっており、施工に当たっては十分注意することが必要である。

### 5. 1 取付けの基本

- 1 取付けの埋設深さは、給水管埋設深さと同一とすること。
- 2 開閉ハンドルは、垂直となるようにすること。
- 3 止水栓の伸縮部については、完全に伸ばした状態で取り付けること。

### 5. 2 逆止弁付伸縮ボール止水栓の取付け（口径 20mm・25mm・40mm（メーター直結））

- 1 水道用ポリエチレン二層管に接続する場合（口径 20mm・25mm・40mm）  
水道用ポリエチレン二層管金属継手（耐震性能強化型）を使用して接続する。



写真Ⅲ-5-1 逆止弁付伸縮ボール止水栓の取付け  
（水道用ポリエチレン二層管に接続する場合）

- 2 水道配水用ポリエチレン管に接続する場合（口径 50mm）  
水道配水用ポリエチレン管継手を使用して接続する。



写真Ⅲ-5-2 逆止弁付伸縮ボール止水栓の取付け  
（水道配水用ポリエチレン管に接続する場合）

### 5. 3 シールリング止水栓の取付け（口径 25mm）

- 1 水道用ポリエチレン二層管に接続する場合（第1止水栓として取付け）  
水道用ポリエチレン二層管金属継手（耐震性能強化型）を使用して接続する。



写真Ⅲ-5-3 シールリング止水栓の取付け

### 5. 4 青銅製ソフトシール仕切弁の取付け（口径 40mm）

- 1 水道用ポリエチレン二層管に接続する場合（第1止水栓として取付け）  
水道用ポリエチレン二層管金属継手（耐震性能強化型）を使用して接続する。

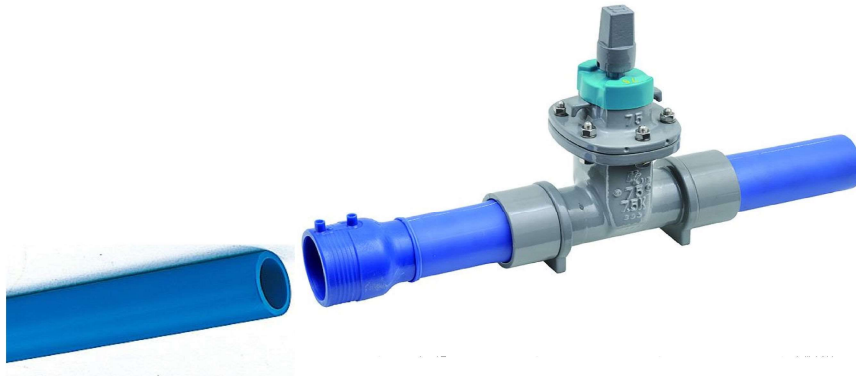


写真Ⅲ-5-4 青銅製ソフトシール仕切弁の取付け

### 5. 5 FCD製ソフトシール仕切弁の取付け（口径 50mm 以上）

- 1 水道配水用ポリエチレン管に接続する場合（口径 50mm・75mm）  
(1) 第1止水栓として取り付ける場合

ポリエチレン管用ソフトシール仕切弁に直接水道配水用ポリエチレン管を接続する。なお、ポリエチレン管用ソフトシール仕切弁の種類及び接続方法については管理者と協議すること。



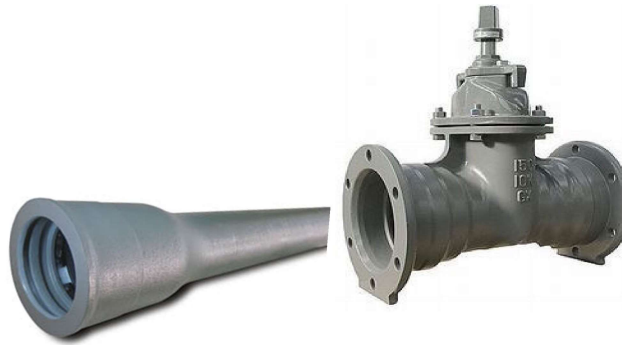
写真Ⅲ-5-5 FCD製ソフトシール仕切弁の取付け  
 (水道配水用ポリエチレン管に接続する場合 (第1止水栓))

- (2) メーター直結の止水栓として取り付ける場合  
 フランジ型ソフトシール仕切弁に水道配水用ポリエチレン管継手を使用して  
 接続する。



写真Ⅲ-5-6 FCD製ソフトシール仕切弁の取付け  
 (水道配水用ポリエチレン管に接続する場合 (メーター直結))

- 2 GX形ダクタイル鋳鉄管に接続する場合 (口径 100mm 以上)  
 (1) 第1止水栓として取り付ける場合  
 GX形ソフトシール仕切弁 (両受形) に直接GX形ダクタイル鋳鉄管を接続  
 する。



写真Ⅲ-5-7 FCD製ソフトシール仕切弁の取付け  
(GX形ダクタイル鋳鉄管に接続する場合(第1止水栓))

- (2) メーター直結の止水栓として取り付ける場合  
フランジ型ソフトシール仕切弁にGX形ダクタイル鋳鉄異形管を使用して接続する。



写真Ⅲ-5-8 FCD製ソフトシール仕切弁の取付け  
(GX形ダクタイル鋳鉄管に接続する場合(メーター直結))

## 5.6 止水栓(仕切弁)筐の取付け

止水栓(仕切弁)筐は、止水栓(仕切弁)の種類およびその設置場所に適した所定のものを次により設置する。

- 1 止水栓(仕切弁)筐の使用区分  
筐の使用は、表Ⅲ-5-1による。

表Ⅲ-5-1 止水栓（仕切弁）の筐の種類

止水栓（仕切弁）の種類	筐の種類	摘 要
シールリング止水栓	F C D 製蓋の仕切弁筐 （ハット式）	設置場所が車道の場合 は【車道用】を設置
青銅製ソフトシール仕切弁	F C D 製蓋の仕切弁筐 （ハット式）	設置場所が車道の場合 は【車道用】を設置
F C D 製ソフトシール仕切弁 （フランジ形、G X 形、ポリ エチレン管用）	F C D 製蓋の仕切弁筐 （レジンコンクリート 積み上げ式）	

- 2 止水栓（仕切弁）の開閉操作に支障のないよう、開閉ハンドル（スピンドル）が止水栓（仕切弁）筐の中心位置にあるように設置する。
- 3 ずれ、沈下等が生じないよう止水栓（仕切弁）筐の周囲を十分突き固める
- 4 止水栓（仕切弁）筐の頭部が地表面と同じレベルになるよう垂直に設置する。